



## 平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成31年1月31日

上場会社名 株式会社エス・ディー・エス バイオテック 上場取引所 東  
 コード番号 4952 URL <http://www.sdsbio.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 順一  
 問合せ先責任者 (役職名) 理事管理部長 (氏名) 深澤 良彦 TEL 03-5825-5511  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月1日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	8,177	—	694	—	702	—	274	—
30年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	35.00	—
30年3月期第3四半期	—	—

(注) 平成30年3月期第3四半期累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）の経営成績は、四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	14,593	5,770	39.5
30年3月期	14,186	5,799	40.9

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 5,770百万円 30年3月期 5,799百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
31年3月期	—	12.50	—		
31年3月期（予想）				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成31年3月期の業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	△11.8	700	△50.4	680	△56.9	200	—	25.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	7,830,925株	30年3月期	7,830,925株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	51株	30年3月期	49株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	7,830,876株	30年3月期3Q	7,830,913株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成30年4月1日～平成30年12月31日)における我が国の経済は、政府の経済政策による雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直しにより、緩やかな回復基調が続いておりますが、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要があります。

農業を取り巻く環境は、世界的には人口増加や新興国の経済成長、バイオ燃料の需要増加に伴って農作物需要が拡大しており、中長期的にも成長が継続するものと思われまます。一方で、世界農薬市場においては海外大手農薬メーカーの大型合併や事業売却が進んでおり、農薬市場における影響を注視していく必要があります。

このような中、当社の状況は、世界的なダコニール需要の増加により、当社主力製品であるダコニール関連剤(原体及び製剤)の需要は旺盛であるものの、ダコニール関連剤を生産する当社横浜工場は平成30年2月12日に発生した爆発・火災事故の影響によりダコニール原体の生産は未だ停止しており、需要に対応できない状況となっております。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は81億77百万円となり、営業利益は6億94百万円、経常利益は7億2百万円、四半期純利益は2億74百万円となりました。

なお、当社は平成30年3月期年度決算より非連結決算に移行しましたので、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

当社の販売する製品は、農繁期に備え、冬季から春季にかけて出荷が集中する傾向にあります。そのため、第3四半期会計期間(10月1日から12月31日まで)、第4四半期会計期間(1月1日から3月31日まで)に売上が集中する傾向にあります。

当社は農薬事業セグメントのみの単一セグメントではありますが、事業の傾向を示すために品目別に販売実績を記載いたします。

#### (殺菌剤)

当第3四半期累計期間における売上高は18億31百万円となりました。主な製品としては、国内向け及び海外向けダコニール関連剤(原体及び製剤)です。

#### (水稻除草剤)

当第3四半期累計期間における売上高は28億19百万円となりました。主な製品としては、国内向けダイムロン原体、ベンゾピシクロン原体及びカフェンストール原体です。

#### (緑化関連剤)

当第3四半期累計期間における売上高は17億16百万円となりました。主な製品としては、カルプチレート関連剤(原体及び製剤)及び海外向けダクタール原体です。

#### (殺虫剤)

当第3四半期累計期間における売上高は5億40百万円となりました。主な製品としては、D-D関連剤及びチューンアップ顆粒水和剤です。

#### (その他)

当第3四半期累計期間における売上高は12億68百万円となりました。主な製品としては、ダコニール原材料です。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末(平成30年12月31日)における総資産は145億93百万円であり、前事業年度末(平成30年3月31日)と比べて、4億6百万円の増加となりました。

流動資産は91億10百万円であり、前事業年度末と比べて3億56百万円の減少となりました。これは、主に現金及び預金の減少11億93百万円、たな卸資産の増加13億62百万円、前払費用の減少2億12百万円、未収入金の減少1億82百万円があったためです。

固定資産は54億82百万円であり、前事業年度末と比べて7億63百万円の増加となりました。これは、主に有形固定資産の増加8億87百万円、投資有価証券の減少1億54百万円があったためです。

流動負債は50億63百万円であり、前事業年度末と比べて8億15百万円の増加となりました。これは、主に買掛金の増加2億84百万円、関係会社短期借入金の増加2億97百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少3億97百万円、未払金の増加6億92百万円があったためです。

固定負債は37億59百万円であり、前事業年度末と比べて3億79百万円の減少となりました。これは、主に長期借入金の減少3億88百万円があったためです。

純資産は57億70百万円であり、前事業年度末と比べて29百万円の減少となりました。これは、主に剰余金の配当金の支払いによる減少1億95百万円と四半期純利益による増加2億74百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億7百万円があったためです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成30年10月22日に公表した「個別業績予想の開示に関するお知らせ」からの変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,501,327	307,851
受取手形	324	324
売掛金	3,066,068	2,921,064
商品及び製品	3,566,132	4,491,685
仕掛品	19,945	4,162
原材料及び貯蔵品	422,752	875,467
前払費用	264,376	52,292
未収入金	601,362	418,399
その他	25,522	39,741
流動資産合計	9,467,811	9,110,986
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	969,707	931,151
構築物(純額)	104,459	105,698
機械及び装置(純額)	156,328	122,982
車両運搬具(純額)	6,439	8,107
工具、器具及び備品(純額)	106,257	107,837
土地	891,545	891,545
建設仮勘定	16,082	970,739
有形固定資産合計	2,250,821	3,138,063
無形固定資産		
ソフトウェア	47,800	34,874
その他	2,389	2,389
無形固定資産合計	50,190	37,264
投資その他の資産		
投資有価証券	1,000,177	845,231
関係会社株式	846,332	846,332
長期前払費用	5,160	3,599
繰延税金資産	517,287	564,732
その他	48,855	47,393
投資その他の資産合計	2,417,814	2,307,289
固定資産合計	4,718,826	5,482,617
資産合計	14,186,638	14,593,604

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	566,473	851,092
関係会社短期借入金	—	297,344
1年内返済予定の長期借入金	2,086,400	1,688,900
未払金	707,217	1,400,040
未払費用	698,617	600,461
未払法人税等	3,710	152,763
賞与引当金	137,161	37,001
火災損失引当金	42,050	—
預り金	4,533	19,378
その他	1,878	16,953
流動負債合計	4,248,040	5,063,937
固定負債		
長期借入金	3,998,500	3,610,300
退職給付引当金	125,787	134,740
その他	14,601	14,090
固定負債合計	4,138,888	3,759,131
負債合計	8,386,929	8,823,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	810,360	810,360
資本剰余金		
資本準備金	77,527	77,527
利益剰余金		
利益準備金	183,200	183,200
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4,326,654	4,404,984
利益剰余金合計	4,509,854	4,588,184
自己株式	△47	△49
株主資本合計	5,397,694	5,476,022
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	402,014	294,512
評価・換算差額等合計	402,014	294,512
純資産合計	5,799,708	5,770,535
負債純資産合計	14,186,638	14,593,604

## (2) 四半期損益計算書

(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	
商品売上高	33,247
製品売上高	8,143,785
売上高合計	8,177,033
売上原価	
商品期首たな卸高	10,015
製品期首たな卸高	3,556,116
当期製品製造原価	6,331,899
当期商品仕入高	40,352
合計	9,938,384
商品他勘定振替高	30
製品他勘定振替高	22,388
商品期末たな卸高	22,646
製品期末たな卸高	4,469,038
売上原価合計	5,424,279
売上総利益	2,752,753
販売費及び一般管理費	2,058,081
営業利益	694,672
営業外収益	
受取利息	898
受取配当金	31,242
火災損失引当金戻入額	12,693
為替差益	1,031
その他	7,081
営業外収益合計	52,948
営業外費用	
支払利息	23,213
廃棄物処理費用	21,700
その他	0
営業外費用合計	44,913
経常利益	702,706
特別利益	
受取保険金	17,306
特別利益合計	17,306
特別損失	
火災損失	301,876
固定資産除却損	5,952
特別損失合計	307,828
税引前四半期純利益	412,183
法人税、住民税及び事業税	138,081
法人税等合計	138,081
四半期純利益	274,102



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報)

当第3四半期累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

当社は、農薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。